

進路通信

北海道雨竜高等養護学校
進路支援部
令和7年7月25日発行
第2号

進路実現に 向けた

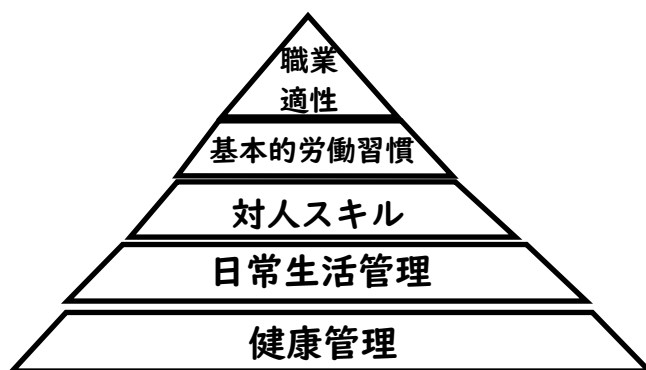
夏休みの過ごし方

【現場実習への準備】

いよいよ明日から夏休みというタイミングで恐縮ですが、9月8日を皮切りに、全学年がそれぞれの目的に合わせて現場実習を実施します。実習で力を発揮するためには、**日頃から生活を整え、休まず出勤することが重要かつ不可欠**です。そこで、夏休み中は以下の3点を意識した生活を気にかけてみてください。

- ① 自分のことは自分で行う（家族の一員として、家事の中での【役割】を果たす）
- ② 規則正しい生活を送る（決まった時間の起床や就寝、身だしなみを整える、整理整頓など）
- ③ 体調管理に努める（心を整える余暇、バランスのよい食事、医師の処方の方の基の服薬など）

右の図は、生徒には学習で、保護者の皆様には懇談会や印刷物でお伝えしており、校内にも掲示している**【職業準備性ピラミッド】**です。特に下段の2つは、生活の場面で培っていくものですので、家庭の支援が肝要です。また、このような職業生活への準備の一つ一つを通して、ゆっくりと「親離れ」「子離れ」が進んでゆくものと、過去の保護者の方々が述べていたこともありました。



現場実習について

1年生

1年進路外勤 にしじま ともち
西島 智子

9月25日（木）から10月1日（水）の平日5日間、現場実習を行います。1年生の現場実習は、全員学校からの出勤で、引率実習と単独実習に分かれます。学校では、生徒ひとり一人に合わせた実習先を検討しました。実習中の週末帰省には、実習先の様子などが親子で話になると思います。励ましたり褒めたりして、5日間をやりきれるよう支援をお願いします。まだ時期的には先ですので、この夏休み中は「働く」に興味を持てるよう、「働く現場」「働く人」を御家庭で話題にさせていただきますようお願いします。

2年生

2年進路外勤 いずみ ともなり
泉 知也

実習期間は、9月8日（月）から19日（金）までの平日9日間です。昨年からの取り組みで、この学年は1年時の実習から土日を含む実習を経験してきました。今年度においても、2週目の実習を有益に過ごせるよう、休日の過ごし方への配慮をお願いします。

保護者の皆様におかれましては、物品や経費の準備、また実習期間中の金曜日は終日実習を行うので、寄宿舎生においては全員送迎の御協力をいただくことになります。お手数をお掛けしますが、御協力をよろしくお願いいたします。

3年生

3年進路外勤 はなわ かすやす
塙 和康

3年生で行われます現場実習は、「前提実習」とも言われます。就労、就職を前提とした実習ということです。前提実習は、実習先の採用試験であり、今まで学んできた力を現場で試す絶好の機会でもあります。さらに学校では学べない社会経験を積んで、卒業後の生活をイメージする実習にもなります。生徒本人はもちろんですが、生活を支える御家族にとってもまさに前提実習です。全員が単独実習で、実習期間もそれぞれです。これまでも保護者の皆様には様々な御協力をいただいておりますが、実習終了まで学校と御家庭と連携して実習を支えていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

卒後支援について

本校の卒後支援

卒業してから、新しい生活が安定するまで、本人、御家族とも少し時間がかかります。

本校では、「卒後支援」として原則３年をめどとして、個別の相談やニーズに対して、各関係機関と連携を取りながら支援を行っています。

卒 業 生	保 護 者
○訪問支援（職場、家庭、生活の場など） ○通信支援（会報の発送、電話相談など） ○招集支援（同窓会総会【うりゅう会】や同窓会活動【青年学級】）年２回	○訪問支援（家庭訪問） ○通信・相談支援（電話相談など） ○招集支援（必要に応じた面談、関係機関のケース会議や自立支援協議会との連携づくりなど）

同窓会行事に参加して、仲間と叱咤激励し合って「明日から互いに頑張ろう！」となることは多いようです。

他にも、本人や進路先から相談や連絡があり、会社訪問を行い、卒業生の行き詰まりや課題の解消に努めることも少なくありません。卒業しても、安定した生活が送れるまで学校は応援します。

「困ったことがあったら相談」を忘れずに！

同窓会の様子

６月１日（日）、滝川市のホテルスエヒロで、同窓会総会及び交流会を行いました。２期生から３９期生の約１００名が参加し大いに盛り上がりました。特に今春卒業した３９期生は、働き始めて初の同窓会行事でしたので、久しぶりの仲間や先生たちとの再会を喜び、近況報告などして明日への活力を得ていました。９月には、旭川市内でスポーツ交流を予定しています。



卒後巡回訪問の様子

卒後支援では、昨年度末に卒業した卒業生については全員訪問することができ、一部会うタイミングがなかった人もいますが、みな元気に働く姿を確認することができました。担当者の話を聞くと、「よく挨拶ができ」、「休まず通って来てくれる」とのことにより評価が多く聞かれました。中には「人格ができています」との声も聞かれ、素直で誠実な態度がよい評価につながっている印象を受けました。

ただ安心はしてはいられません。例年の傾向として半年が過ぎる頃に、いろいろな理由で課題が出てきて、中には休みがちになってしまうことが少なくありません。特に近年に多いのが、SNSがらみの人間関係のトラブルです。職場はもちろんのこと、職場とは関係のない人とのプライベートでの問題が、結局仕事の意欲低下につながってしまう例があるのです。どうかスマホの利用の仕方には十分注意を向けていただきたいと思います。

